



# Voices from Students and Professors 2012

CLOSE UP

## 法・政治設計の専門家として国際的に活躍できる力を養う教育プログラム

名古屋大学大学院法学研究科が築きあげてきた国際的ネットワークを活かし、法整備支援プロジェクトの現場を活用しながら、国境を越えて、魅力ある制度を構想・設計できるリーダーの育成を目指します。

### 法整備支援の専門家を目指して 岡野 直幸 法学研究科 博士前期課程1年

制度設計に携わる人は、法の運用だけでなく政治・経済全体も見据えた幅広い知識を持つ必要がある。そう考え、私はロースクールから本大学院に移籍しました。ここでは法学・政治学の先端的な知識を学ぶだけでなく、多国籍なメンバーと共にディスカッションをし、協同してプロジェクトを進めるなど、密度の濃い学修を進めています。また、夏季休暇には研究及び語学研修を兼ねて海外に赴きインターンに従事する予定です。このプログラムの最大の特徴は主体的な学修をする仕組みが整っているということです。そのことは、例えば自分の希望する分野の教授を名古屋に呼ぶことができる指導者リクエスト制度に表れています。しかし逆に言えば、自分で考えて自分の学修を設計することができないと、効果も不十分になってしまうかもしれません。そのようなチャレンジングな環境に身を置くことで、社会制度のコーディネーターとして必要な深い知識とともに、真のリーダーシップを体得できればと考えています。



VOICE



鈴木 秀  
法学研究科 博士前期課程1年



Jacek Kozikowski  
法学研究科 博士前期課程1年



Isabelle Giraudou  
法学研究科 特任准教授

### グローバルな視点を持ち、 法整備支援に携わる

入学以来、分野別に講演者を招聘できる特別講義により、常に密度の濃い時間を過ごしています。また、十分なサポートを受けることができるため、学業にも専念できています。将来は一つの国、組織の中だけでなく、国際機関で法整備支援等に携わりたいと考えています。

### Leading the world legal reforms

The Leading Program provides the highest standards in educating future specialists in the field of cross-border institution design. I believe that the Program will provide necessary skills to become a good leader in emerging global legal reforms.

### Crossing Boundaries

The Leading Program invites students from a diverse spectrum of backgrounds to question transnational regulatory experiments, to learn across and beyond classically defined legal systems, and to find frameworks that better allow us to grapple with normativity in the era of globalization.



国際シンポジウム「法整備支援から法協力へ」(2012年12月9日)における本プログラム紹介の様子



名古屋大学大学院法学研究科による法学・政治学研究・教育の国際化に向けた様々な取り組み